



令和2年11月20日

辟雍会通信 No.2

〒184-8501
東京都小金井市貫井北町 4-1-1
東京学芸大学辟雍会
hekiyou@u-gakugei.ac.jp

ご挨拶

新型コロナウイルス感染症が収束せず、東京では500人超、北海道、大阪では300人超の新規感染者が出、感染症拡大の第3波が懸念されていますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

11月になり大学構内の木々の紅葉が進んできました。先月末から今月にかけて恒例の小金井祭が開催される予定でしたが、例年のような形での開催は中止となり、ホームカミングデーも中止となってしまいました。大学の授業の多くはオンラインで行われていますが、小金井祭も新しい試みとして11月21日、22日にweb開催する予定になっています。詳しくは、大学ホームページ (<https://www.u-gakugei.ac.jp/>) をご覧ください。10月31日に予定していました本会全国代表者会議は、対面式

での開催は取り止めメール会議といたしました。

来月はもう師走で忘年会シーズンとなりますが、感染症が収束しない状況下では、各支部の忘年会の開催も難しいのではないのでしょうか。早く、安心して集まって情報交換ができる日が来ることを祈っています。

これから寒さが厳しくなり、インフルエンザの流行も懸念されます。会員の皆様におかれましては、どうぞ十分ご自愛ください。

(辟雍会会長 長谷川 正)



2020年度辟雍会全国代表者会議に寄せられた支部の動き

いつもは紅葉し始める大学構内の通りをゆっくりと散策しながら、全国代表者会議が開催される事務棟に足を運ぶのですが、今年はコロナ禍の中、会議は文書会議に変わりました。やむを得ない措置でしたが、60名の代表者の参加があり、議案はすべて全員賛成により承認されました。各部報告については励ましの声もあり、担当の一人として勇気づけられます。



また、各支部の報告も寄せられました。恒例の総会や懇親会がすべての支部で中止・延期となっているようです。その中でも、総会議事を文書会議によって決済した青森県、静岡県、また今年10回記念を迎えて記念ボールペンを作成した岡山県、来年2月に講演会を計画している静岡県、かえって会員相互の連絡が密になった宮城県、メールやSNSで近況を話し合う佐賀県、横浜市との連携も図っている神奈川県、教員採用試験のために学部学生を支援している千葉県、オンラインで活動を情報共有し、オリンピック開催応援、ハイブリッド型日韓研修の準備をする韓国支部、こうした支部からの報告がありました。

来年はぜひ、辟雍会の活動が元に戻るように祈るばかりです。5月29日(土)に理事会、全国代表者会議が10月30日(土)に予定されています。

海外の学校でも活躍する学芸大学出身の教員にエールを!

本学出身者の教員は東京都を中心に全国の学校で教鞭をとっています。他方、活躍の舞台は国内にとどまらず、海外の学校にも広がっています。元来、本学附属学校教員は在外教育施設(日本人学校や補習授業校等)で活躍してきました。その伝統



は今も続いています。私立在外教育施設で活躍する卒業生もいます。現在は、本学と密接な関係にあるタイのバンコク日本人学校(写真)、また香港日本人学校(香港校と大埔校)には教員推薦も行われています。今年度は教育実習についても検討されました。あいにくコロナ禍によって中止となりましたが、次年度実施の方向で計画されていると聞きます。昨年、ロンドンにある私立在外教育施設の立教英国学院で教員として、また管理者として活躍する本学卒業生に出会う機会がありました。卒業生が遠い地でそれぞれの道で活躍する姿は尊いものでした。

現在、コロナの影響で、中国の一部を除いては日本人学校・補習授業校で対面授業を行うことが困難な状況と聞きます。細々とオンライン授業を行っている学校もあります。感染がひどい状況の欧米では外出禁止の中で学校への通学を認めるところがありますが、子どもたちと保護者の不安やストレスはいかばかりかと察されます。そして、そういう状況下で子どもの教育に日夜奮闘する教員の苦勞も察せられます。その中には学芸大学出身の先生もいます。辟雍会としてその活躍にエールを送りたいと思います。

(広報部長 小澤 一郎)

News

「学大スポーツ」第149号発刊

「学大スポーツ」(鈴木禹志様発行)は1月に休刊となりましたが、コロナ禍でも頑張っている学芸大運動部の活躍を取り上げた特別号(149号)が発刊されました。本会HP (<https://www.hekiyou.com/>) をご覧ください。

訃報 本会監事田上和子様(享年76歳)におかれましては令和2年10月7日、本会理事・総務部相談役本間久則様に(享年66歳)におかれましては令和2年8月20日にご逝去されました。ここに謹んで哀悼の意を表し、お知らせいたします。